

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成31年2月14日(2019.2.14)

【公表番号】特表2016-501066(P2016-501066A)

【公表日】平成28年1月18日(2016.1.18)

【年通号数】公開・登録公報2016-004

【出願番号】特願2015-542401(P2015-542401)

【国際特許分類】

A 6 1 L 31/00 (2006.01)

A 6 1 K 49/04 (2006.01)

C 0 7 K 7/08 (2006.01)

【F I】

A 6 1 L 31/00 T

A 6 1 K 49/04 K

C 0 7 K 7/08 Z N A

【誤訳訂正書】

【提出日】平成30年12月25日(2018.12.25)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0078

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0078】

上記膜もしくはヒドロゲルは、本開示の方法およびキットを使用して所望の効果を提供するために十分な期間にわたって、上記標的領域の所定の場所に留まり得る。所望の効果は、生物学的経路もしくはチャネルを介して流体の流れを低減もしくは妨げることであり得る。所望の効果は、1つ以上の生物学的経路もしくはチャネルにおける遮断、滞留、閉塞、もしくは塞栓であり得る。所望の効果は、腫瘍もしくは他の病理過程からそれらの血液供給を取り除く(灌流)ために、このような遮断、滞留もしくは閉塞を意図的に作り出すことであり得る。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

血管において少なくとも部分的遮断、滞留、閉塞もしくは閉栓を形成し、被験体における腫瘍から血液供給を取り除くことによって、該被験体においてがん細胞の低減または排除に使用するための組成物であって、該組成物は、

生理学的条件下でヒドロゲルを形成して、該血管の少なくとも部分的遮断を可能にして塞栓効果またはその中の細胞壊死効果を提供するために有効な量で、および有効な濃度で、疎水性アミノ酸と親水性アミノ酸とが交互になっている少なくとも12個のアミノ酸を含む両親媒性ペプチドを含む溶液；

を包含する、組成物。

【請求項2】

前記ペプチド溶液は、造影剤を含む、請求項1に記載の組成物。

**【請求項 3】**

前記有効な量および前記有効な濃度のうちの少なくとも一方は、前記血管の標的領域の直径に一部基づく、請求項 1 に記載の組成物。

**【請求項 4】**

前記有効な量および前記有効な濃度のうちの少なくとも一方は、前記血管中の血液の流速に一部基づく、請求項 1 に記載の組成物。

**【請求項 5】**

前記有効な量および前記有効な濃度のうちの少なくとも一方は、前記被験体の赤血球の平均直径より小さな平均孔サイズを有するヒドロゲルのナノ線維を提供することに一部基づく、請求項 1 に記載の組成物。

**【請求項 6】**

前記血管の少なくとも部分的遮断を可能にするために有効な濃度は、約 0 . 1 重量 / 体積 ( w / v ) % ~ 約 3 w / v % ペプチドの範囲の濃度を含む、請求項 1 に記載の組成物。

**【請求項 7】**

前記血管の少なくとも部分的遮断を可能にするために有効な量は、約 0 . 1 m L ~ 約 5 m L の範囲の体積を含む、請求項 1 に記載の組成物。

**【請求項 8】**

前記ペプチド溶液は、細胞または薬物を実質的に含まない、請求項 1 に記載の組成物。

**【請求項 9】**

前記被験体は、哺乳動物である、請求項 1 に記載の組成物。

**【請求項 10】**

前記溶液は单一用量で提供されるか、または前記溶液は少なくとも 2 用量で提供される、請求項 1 に記載の組成物。

**【請求項 11】**

前記ペプチドは、R A D A R A D A R A D A R A D A (配列番号 7 )、I E I K I E I K I E I K I (配列番号 8 )、およびI E I K I E I K I E I K I E I K I (配列番号 9 )のうちの 1 つのアミノ酸配列を有する、請求項 1 に記載の組成物。

**【請求項 12】**

前記溶液は、前記血管の完全な遮断を可能にするために投与される、請求項 1 に記載の組成物。

**【請求項 13】**

血管において少なくとも部分的遮断、滞留、閉塞もしくは閉栓を形成し、被験体における腫瘍から血液供給を取り除くことによって、該被験体においてがん細胞の低減または排除に使用するためのキットであって、該キットは、

生理学的条件下でヒドロゲルを形成して、該血管の少なくとも部分的遮断を可能にして塞栓効果または細胞壊死効果を提供するために有効な量で、および有効な濃度で、疎水性アミノ酸と親水性アミノ酸とが交互になっている少なくとも 1 2 個のアミノ酸を含む両親媒性ペプチドを含む溶液；ならびに

該被験体において該血管へ該溶液を投与して前記遮断を作るための指示、  
を含む、キット。

**【請求項 14】**

- a ) 前記溶液を前記被験体の前記血管へと導入するためのカテーテル、
  - b ) 前記溶液を投与する工程を可視化するために適した量で造影剤を該溶液に添加するための指示、
  - c ) 造影剤およびスクロース溶液のうちの少なくとも一方、
  - d ) 前記溶液の有効な濃度を前記被験体において前記血管に投与するために、該溶液を希釈するための指示、および
  - e ) 標的領域にある前記血管の直径に基づいて、前記被験体における該血管への前記溶液の前記有効な濃度を決定するための指示
- のうちのいずれか 1 つまたはそれより多くをさらに含む、

請求項 1 3 に記載のキット。